

News Release

アクセンチュア、2001 会計年度通期、及び第 4 四半期は好業績

予想を大幅に上回る第 4 四半期の営業収入および営業利益、2002 会計年度第 1 四半期の予想は達成可能

【ニューヨーク発、2001 年 10 月 11 日】

アクセンチュア (NYSE: ACN)が本日発表した、2001 年 8 月 31 日 を期末とする 2001 会計年度、及び第 4 四半期の決算は、営業収入、営業利益、1 株当たり利益に 対する事前予想とアナリストのコンセンサス予想を上回りました。

同年度通期の売上収入（「純収入」）は 114 億 4,000 万ドルと、前年度に比べて米国ドルベースで 17%増、現地通貨ベース*では 23%増となりました。第 4 四半期の収入は 27 億 8,000 万ドルと、前年同期に比べて米国ドルベースで 11%増、現地通貨ベースで 16%増に達しました。

*現地通貨ベース：

各国のそれぞれの通貨ベースにおける加重平均成長率を 3 つの地域で集計、更にグローバルで集計したものの。

同年度通期の調整後における少数株主持分損益前利益（新規株式公開 (IPO) およびその他の一時費用を除く）は、9 億 2,200 万ドルでした。第 4 四半期の同ベースにおける少数株主持分損益前利益（一時費用を除く）は 1 億 400 万ドルでした。同ベースによる 1 株当たり利益（希薄化後）は、通期が 0.91 ドル（投資利益を除くと 0.81 ドル）、第 4 四半期が 0.12 ドルでした。

同ベースにおける営業利益（一時費用を除く）は同年度通期が 14 億 5,000 万ドル、営業利益率が 13%、そして第 4 四半期は同 2 億 5,700 万ドル、同 9%となりました。

「アクセンチュアの前年度の第 4 四半期および通期が好業績であったのは、産業および地域の両方 において当社の事業が多岐に渡っており、かつ当社が顧客企業の業務革新に寄与している証です。当社は営業収入と営業利益の目標を大幅に上回りましたが、これは現在の経済環境を考慮すると注目に値する功績です。収益成長および効率的なコスト管理の両方を積極的に追求していることから、私共は弊社がサービス産業の中でも最も好位置にいる企業であると考えております。」

アクセンチュアの 2001 会計年度の好業績に寄与したのは、5 つの産業部門全てと 2 つの最大地域 における 2 桁成長でした。

アクセンチュアの 2001 年度の収入については、官公庁部門が同年度に初めて 10 億ドルを突破し、対前年比で 26% 拡大しました。製造・流通業部門は 22 億 7,000 万ドルで同 20%増、素材・エネルギー部門は 19 億 7,000 万ドルで同 19%増、通信・ハイテク部門は 32 億 3,000 万ドルで同 15%増、金融 サービス業部門は 29 億ドルで同 14%増となりました。

2001 年度の収入を地域別にみると、アメリカ大陸では 61 億 8,000 万米ドルと前年度に比べて米ドル ベースで 17%増、現地通貨ベースで 18%増に達しました。欧州／中東／アフリカ／インド (EMEA) 地域では米ドルベースで 44 億 4,400 万ドル (同 20%)、現地通貨ベースで同 32%の増加を記録しました。アジア太平洋地域では米ドルベースで 8 億 2,600 万ドル (同 6%増)、現地通貨ベースで同 17%増となりました。

「前年度決算が好調であったのは、弊社コンサルタントの顧客への価値提供に対する徹底した貢献、並びに 10 年以上を費やして築き上げた顧客との関係強化等、多数の要因によるものです。また、弊社は、顧客の関心が「ビジネス・トランスフォーメーション (事業変革)・アウトソーシング」—すなわちアウトソーシング、コンサルティング能力、及びその他の能力を組み合わせることにより、大幅な経営革新を達成すること—に向かいつつあることを喜ばしく思っております。」とフォーハンは述べています。

「ビジネス・トランスフォーメーション (事業変革)・アウトソーシング」を含めたアウトソーシングビジネスの 2001 年度の収入は、前年度比 20%増の 19 億 8,000 万ドルとなり、当社の純収入の 17%以上を占めました。

「アクセンチュアは、9 月 11 日の同時多発テロによる影響の関連費用としての、2002 年会計年度第 1 四半期の一時費用は、4,000 万ドルを超えないと予想しています。上記の費用を計上しても、なおも新規株式公開時にアナリストが示した第 1 四半期の見通しを十分に達成できます。

アクセンチュアは本日午前 8 時 (東部時間) にカンファレンスコールを開催し、2001 年第 1 四半期と通期の業績に関するご説明を致します。参加ご希望の方はカンファレンスコールの開始約 15 分前までに (800) 230-1085 [+ 1 (612) 288-0337 インターナショナル] まで電話を掛けてください。また、カンファレンスコールはアクセンチュアのウェブサイトで www.accenture.com/investor の Investor Relations (インベスター・リレーションズ) のセクションにアクセスすると、ライブでご覧になれます。

カンファレンスコールのリプレイは、www.accenture.com/investor、または午後 2 時 15 分から(800) 475-6701 [米国外からの場合、(320) 365-3844]に電話を掛け、パスワード 606616 を押してください。

参考資料

アクセンチュア

連結損益計算書

2001 年 8 月 31 日を以って終了する 3 カ月間

(未監査)

(単位：千ドル、1 株当たり利益を除く)

	公表前	調整	調整後
営業収入:			
売上収入 (純収入)	\$ 2,777,435	\$ -	\$ 2,777,435
その他収入	428,822	-	428,822
営業収入	3,206,257	-	3,206,257
営業費用:			
売上原価:			
外注費前売上原価	1,689,852	-	1,689,852
外注費	428,822	-	428,822
売上原価	2,118,674	-	2,118,674
販売費	446,050	-	446,050
一般管理費	384,959	-	384,959
組織変更・ブランド変更費	71,381	(71,381)	-
制限付き株式報酬費	967,110	(967,110)	-
営業費用計	3,988,174	(1,038,491)	2,949,683
営業利益 (損失)	(781,917)	1,038,491	256,574
投資有価証券利益、純額	(72,684)	-	(72,684)
受取利息	20,165	-	20,165
支払利息	(17,863)	-	(17,863)
雑収入 (費用)	(3,820)	-	(3,820)
持分法による投資損失	(8,563)	-	(8,563)
税引前利益 (損失)	(864,682)	1,038,491	173,809
税金費用	82,288	(12,964)	69,324
少数株主持分損益前利益 (損失)	(946,970)	1,051,455	104,485
少数株主持分	577,188	(647,687)	(70,499)
当期純利益 (損失)	\$ (369,782)	\$ 403,768	\$ 33,986
1株当たり利益			
- 基本的	\$ (1.25)		\$ 0.12
- 希薄化後	\$ (1.25)		\$ 0.12
加重平均株数:			
- 基本的	295,392,338		295,392,338
- 希薄化後	899,711,420		899,711,420

注記

調整には、アクセンチュアへの社名変更のためのブランド変更費用の1,300万ドル、企業構造の移行と新規株式公開の実施による組織変更費用の一時費用の5,800万ドル、そしてパートナー、前パートナー、従業員に付与した制限付き株式の一時交付費用の9億6,700万ドル、関連法人所得税に加え組織変更に伴う税金費用の総計1,300万ドルが算入されております。2001年8月31日現在の発行済み株式数を通期の株式数と想定すると、1株当たり利益（希薄化後）は0.10ドルになります。

少数株主持分損益前利益は、アクセンチュアが子会社のアクセンチュア sca の連結利益を表示したもので、アクセンチュアによるアクセンチュア sca への出資比率を考慮しておりません。少数株主持分損失は、アクセンチュア sca の直接株主であるパートナーの持分利益を除いております。アクセンチュアの当期純利益は、アクセンチュアの株主に帰属する利益を表示しております。

アクセント

連結損益計算書

2001年8月31日を以って終了する会計年度

(未監査)

(単位：千ドル、1株当たり利益を除く)

	公表額	調整	調整後
営業収入:			
売上収入 (純収入)	\$ 11,443,720	\$ -	\$ 11,443,720
その他収入	1,904,152	-	1,904,152
営業収入	<u>13,347,872</u>	<u>-</u>	<u>13,347,872</u>
営業費用:			
売上原価:			
外注費対売上原価	6,199,213	725,163	6,924,376
外注費	1,904,152	-	1,904,152
売上原価	<u>8,103,365</u>	<u>725,163</u>	<u>8,828,528</u>
販売費	1,217,343	289,705	1,507,048
- 一般管理費	1,515,683	44,383	1,560,066
組織変更・ブランド変更費	848,615	(848,615)	-
制限付き株式報酬費	957,110	(967,110)	-
営業費用計	<u>12,652,116</u>	<u>(756,474)</u>	<u>11,895,642</u>
営業利益 (損失)	695,756	756,474	1,452,230
投資有価証券利益、純額	107,016	-	107,016
受取利息	79,778	-	79,778
支払利息	(43,278)	(15,418)	(58,696)
雑収入 (費用)	16,973	-	16,973
持分法による投資損失	(61,388)	-	(61,388)
税引前利益 (損失)	794,857	741,056	1,535,913
税金費用	502,616	111,549	614,165
会計処理の変更及び少数持分持分損益前利益	292,241	629,507	921,748
会計処理の変更による累積影響額	187,974	(187,974)	-
少数株主持分損益前利益	480,215	441,533	921,748
少数株主持分	577,188	(1,122,033)	(544,845)
当期純利益	\$ 1,057,403	\$ (680,500)	\$ 376,903
1株当たり利益:			
- 基本的			\$ 0.91
- 希薄化後			<u>\$ 0.91</u>
2001年8月31日現在の発行済み株式数:			
- 基本的			412,705,954
- 希薄化後			<u>1,008,163,290</u>

注記

調整には、2000年9月1日に組織変更が発生したという仮定の基に、2001年5月31日以前に発生している一時費用項目および金額が含まれています。一時費用項目には、組織変更に伴う社名変更のためのブランド変更費用の1億4,400万ドル、企業構造の移行と新規株式公開の実施による組織変更費用の7億500万ドル、そしてパートナー、前パートナー、従業員に付与した制限付き株式の一時交付費用の9億6,700万ドル、fas 133の採用による収益の1億8,800万

ドル、関連所得税額への影響として1億600万ドルの税額控除が算入されております。上記の一時費用項目は、アクセンチュアの目論見書の調整後財務情報の項に開示され、2001年8月31日終了の第4四半期の取引を含めて更新しております。企業ベースで2001年5月31日以前の決算に示した調整には、パートナーへの報酬の10億5,900万ドル、利息の1,500万ドルが含まれています。加えて、少数株主持分は通期に沿うように調整されています。1株当たり利益は、2001年8月31日現在の発行済み株式および株式相当証券を通期の株式数とする想定に基づいています。

アクセンチュア

結合及び連結貸借対照表

2000年及び2001年8月31日現在

(未監査)

(単位：千ドル)

	結合貸借対照表 2000年	連結貸借対照表 2001年
資産		
流動資産:		
現金および現金等価物	\$ 1,270,516	\$ 1,880,083
売掛金	1,450,555	1,498,812
未請求サービス	682,935	731,802
その他の流動資産	595,279	468,940
流動資産計	<u>3,999,285</u>	<u>4,579,637</u>
固定資産:		
投資有価証券	509,665	324,139
有形固定資産、純額	705,508	822,318
その他の固定資産	236,839	335,262
固定資産計	<u>1,452,012</u>	<u>1,481,719</u>
資産計	<u>\$ 5,451,297</u>	<u>\$ 6,061,356</u>
負債および資本		
流動負債:		
短期借入金	\$ 194,686	\$ 190,669
買掛金	233,737	371,794
繰延収益	946,390	810,043
未払給与および給付額	700,843	1,050,385
その他の未払費用	906,323	1,748,611
流動負債計	<u>2,983,979</u>	<u>4,171,502</u>
固定負債:		
長期借入金	98,865	1,090
その他の固定負債	-	1,191,332
固定負債計	<u>98,865</u>	<u>1,192,422</u>
少数株主持分	-	422,021
資本:		
株主資本	-	275,411
パートナー資本	2,368,453	-
資本計	<u>2,368,453</u>	<u>275,411</u>
負債および資本計	<u>\$ 5,451,297</u>	<u>\$ 6,061,356</u>

このプレスリリースは将来の予測に関する記載が含まれており、その正確性についてはリスクと不確実性が伴うことを前提としております。実際の結果が記載もしくは予測から著しく異なる原因となる要因には、一般的な経済状況および米国証券取引委員会に提出済みの登録書類であるフォーム S-1 の「リスク要因」の項に記載された要因などがあります。

本プレスリリースは、アクセンチュアが 2001 年 7 月 19 日に新規株式公開を実施後上場企業としての最初の業績発表です。プライベート・パートナーシップから上場企業へ転換した結果として、アクセンチュアは比較対象となる過去の数字を表示することができませんが、例外として収入については 2000 会計年度通期と第 4 四半期との比較を示しております。

アクセンチュアについて

アクセンチュア(NYSE: ACN)は先進的な経営コンサルティングとテクノロジー・ソリューションを提供するグローバル企業です。全世界 46 カ国において約 75,000 名、日本においては約 2,000 名のプロフェッショナルが、あらゆる産業領域において卓越した能力とソリューションを企業顧客に提供しています。アクセンチュアは全世界において統一されたブランドとビジネスモデルによって事業を展開しており、全世界の顧客に一貫したサービスを提供しています。

アクセンチュアは今日の企業の抱えるあらゆる経営課題に対し、コンサルティング、テクノロジー、アウトソーシング、アライアンス、及びベンチャー・キャピタルといった手法により、グローバルな自社ネットワークを活用した解決策を提案しています(2001年7月19日 NYSE 上場、略号: ACN)。

アクセンチュアの詳細は

www.accenture.com を、

アクセンチュア株式会社の詳細は

www.accenture.com/jp をご覧ください。

Copyright © 2015 Accenture
ALL rights reserved

Accenture, its logo, and
High Performance Delivered
are trademarks of Accenture.